

町長一般経過報告

第2回広野町議会定例会

“日本一元気な町づくり” ふる里復興・創生「^{ぜんしん}漸進の年」 —いのちを守り、人を活かし、未来をつくる町—

令和7年第2回広野町議会定例会が6月16日から17日までの会期で開催されました。一般質問を経て議案審議がなされ、すべての議案が原案どおり可決されました。会期初日には、遠藤町長が第1回定例会（3月開催）以降の町政経過報告を行いました。町民の皆さまにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主の内容の抜粋を掲載します。



遠藤町長

総務課

4月12日、行政区長会議を開催しました。令和7年度における広野町の重点事業、いただいた要望と質問への対応、及び広野駅周辺整備事業、折木地区土砂採取事業計画変更協議（林地開発）について説明を行いました。行政区長の皆様からいただいた貴重なご意見を施策に反映し取り組んでいきます。

4月19日、住民説明会を開催しました。令和7年度における広野町の重点事業、及び広野駅周辺整備事業、折木地区土砂採取事業計画変更協議（林地開発）について説明を行いました。参加された住民の皆様からいただいた貴重なご意見を施策に反映し取り組んでいきます。

5月24日、25日、町制施行85周年記念事業として、第35回広野町民号「新緑の日光・会津めぐり 日光東照宮と鬼怒川温泉ふれあい



第35回広野町民号

の旅」を町民や町内事業者など120人参加の下実施し、参加者の皆さまは旅行を楽しみながら相互に親睦を深めました。行程において、西会津町、平田村の道の駅を訪問し、西会津町、薄友喜町長、伊藤一男議長、平田村、澤村和明村長、伊藤孝雄議長から歓迎のご挨拶をいただきました。

6月14日、広野駅環境美化推進協議会が主催する美化活動が、広野駅周辺で行われました。当日は、同協会の根本会長をはじめ、

復興企画課

4月13日、春季町長杯パークゴルフ大会（グリーンカップ）が開催され、町内外から約150人の参加者の下、日頃のプレーの成果を発揮しようと熱戦が繰り広げられました。当日は、絶妙なコースセッティングに手こずり、参加者はスコアメイクに苦しみましたが、ホールインワンを複数記録するなど盛り上がりしました。

4月14日、興水恵一復興副大臣が来訪され、今年2月に庁舎内に設置した「A Iコンシェルジュサービス」についてご視察されました。興水復興副大臣からは、「先進的な取り組みに大いに期待します。」とお言葉を頂きました。

こども家庭課

入による令和7年度の国民健康保険税、介護保険料の免除に関しては、本議会に国民健康保険税等の減免に関する条例案を上げしております。

4月5日、広野こども園の入園式を議員の皆様ご臨席の下実施しました。0歳児から3歳児までの16人が新たに入園し、こども園の全園児数は92人となっています。

4月25日、広野こども園において保育・給食参観を実施しました。当日は、0歳児から5歳児の保護者を対象に、公認心理士による子育てに関する講演を併せて実施しました。

健康福祉課

住みやすい町づくりを目指す「花いっぱい運動」を開催しました。当日は、約100人の参加者の下、サルビアやマリーゴールドなど約6,000本の植栽を行いました。

4月24日、広野町保健協力員・母子推進員10人に対し、委嘱状の交付を行いました。保健協力員・母子推進員には、総合検診、乳幼児健診等事業にご協力をいただきます。



保健協力員・母子推進員委嘱状交付式

5月3日、二ツ沼総合公園において「ふれあいフェスタ2025」を開催しました。当日は、ゴルフデンウィーク中の好天に恵まれ、ステージイベントやフリーマーケットをはじめ、飲食ブース、キッチンカー、フリーマーケットに約1,500人が訪れ、公園内の遊具で遊ぶ多くの家族連れで賑わいました。

5月28日、原子力災害による旧緊急時避難準備区域に指定されていた広野町、南相馬市、田村市、川内村の4市町村は、復興庁福島復興局において、復興大臣及び原子力災害現地対策本部長に対し、合同で要望活動を実施しました。当日は、志田文毅福島復興局長、佐野究一郎原子力災害現地対策本部副本部長に対し、第二期復興創生期間後の支援策や復興予算の財源確保、医療体制の再構築、保健医療福祉人材の確保など、福島第一原発事故からの復興・創生に対する支援の継続を求めました。

6月7日、二ツ沼総合公園において、花を植えることで景観を良くし、明るく



内堀知事による町内視察